

平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰教職員・教職員組織名簿（奈良県）

年齢はH29. 4. 1現在

番号	学校名	氏名	概要	年齢	性別
1	奈良市立平城西小学校	としかわ ゆか 藤川 由佳	<p>国語科における主体的・協働的な学習について</p> <p>「国語科における主体的・協働的な学習について」をメインテーマとして、長年「県小学校教科等指導資料」・「小学校国語教材『古典に親しもう』DVD」（県教育委員会）・「奈良大好き世界遺産学習」（奈良市教育委員会）などの作成に関わり、国語の授業づくりに関する執筆もしている。</p> <p>郷土奈良を意識しながら、地域に根差した教材の開発ができています。授業内容や深く切り込む手法で児童を見事にひきつけ、国語の授業だけではなく、それをもとにした実践で昨年度荒れかけていた学年を見事に立て直している。</p> <p>担任として、学年主任として、保護者の信頼は厚く、参観に出席した保護者から称賛の声を、また学校評議員からも同じような声をいただくなど、学校外からの評価が高い。</p>	42	女
2	三郷町立三郷北小学校	なかむら よし 中村 芳司	<p>かかわろう つながろう ともにいきよう ～私が大事にしたいこと～</p> <p>在籍校では「かかわろう つながろう ともにいきよう」というスローガンの下、様々な個性・特性のある児童がそれぞれに力を付けつつ、周りの児童との関わりを大切にすることで社会性を育み、共に生きる教育を進めている。</p> <p>本教諭は、学級づくりにおいて特別支援学級児童に対し、周りの児童がどのようにかかわっていくか、さらに学級の中の人間関係を大切にしながら、相互がいかに力を伸ばしていくかを考え日々取組を進めている。</p> <p>それにより、学級の児童全員の力を伸ばし、学級全体の人間関係もよくなり、楽しい学校生活を送らせることができ、保護者からの信頼も厚い。</p>	38	男
3	生駒市立生駒東小学校	あらかわ まゆみ 荒川 真弓	<p>音楽を愛する心を育て、共に学び高め合う集団をつくる</p> <p>在籍校が目指す学校像の一つである「音楽を愛する心が育つ学校」の実現に向けて、音楽専科の本教諭は、授業実践、学校行事や集会活動等、音楽を通して児童の「生きる力」を育む教育活動に、担任や地域、保護者と連携しながら率先して取り組んでいる。児童の音楽会の発表や儀式的行事での歌唱では、保護者、地域住民より毎年、高い評価を得ている。</p> <p>教科の専門性、指導力は非常に高く、校内のみならず生駒市や奈良県内の教科部会等で、授業研究や研修会を通して若手教員の育成に関わるなど、音楽教育の推進に尽力している。</p> <p>課題をもつ子どもや落ち着かない学級にはとりわけ力を注ぎ、「音楽の力で子どもの姿が変わる」ことを立証している。担当している学年だけでなく、学校全体で様々な活動に取り組む、学級担任との情報交換など積極的に関わっているため、他の職員からの信頼も厚い。</p>	53	女
4	下市町立下市小学校	にしやま たけ 西山 武志	<p>ミドルリーダーとしての取組について</p> <p>学校現場における世代交代に伴い、早くから教務主任を務め、また中堅教員のミドルリーダーとして、重要な役割を担ってきた。経験豊かな教員と少ない教員との世代間ギャップを埋め、指導方法のスキルの共有を促し、若手教員の育成的な視点を持って積極的にパイプ役を果たした。</p> <p>また、教務主任としても「家庭学習の手引き」の作成等を通しての学力向上への取組や小中連携及び小中一貫教育に向けた取組、学校評価の総括に基づいた学校運営の取組を推進するにあたり、リーダーシップ及びマネジメント力を発揮し、貢献してきた。その実践は広く周知していくに値するものである。</p>	41	男
5	香芝市立関屋小学校	なかしま たいすけ 中島 大輔	<p>体育主任として進めた、学校全体での体力向上の取組について</p> <p>本教諭は、体育主任として常に学校全体を視野に入れ、児童の体力面の課題解決を目指し、体育科授業や体育的行事、休み時間等を利用した体育的活動の工夫と充実にも努めている。</p> <p>その実践は若手教員の授業改善等への意識向上にもつながっており、模範的リーダー的存在である。</p> <p>また、市・県小学校体育研究会での授業公開や実践発表を行う一方、体育科授業の改善・向上に向け、研修会にも積極的に参加し、その研修成果を校内だけでなく、県内にも推進コーディネーターとして県内の小学校にも広め、指導力を発揮している。</p>	41	男
6	五條市立五條小学校	とよと よしやす 徳本 義和	<p>金管バンドクラブ指導について</p> <p>本教諭は、高学年の担任の立場で「意欲的・主体的に取り組む児童の育成」を目指し、率先垂範してきた。特に金管バンド指導においては、規律ある指導を徹底させ、奏でる演奏は多くの人を魅了してきた。毎年3年生から部員を募集し、ここ数年は二十数名のメンバーで、放課後及び毎土曜日を中心に活動している。同僚や地域ボランティアの協力を得て、礼儀や挨拶等の基本的な生活習慣を大切にしながら指導を続けることにより、学校全体の規範意識も大きく向上した。</p> <p>今回の事例では、「全国管楽器合奏フェスティバル西日本大会」や「日本バンドクニック」に出場するなど部活動指導が目を見張るが、それだけに止まらず、この取組が学校全体の規範意識や生活習慣の向上につながっている。</p> <p>部活動を指導する教員にとって、大変参考になる事例である。</p>	51	男

平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰教職員・教職員組織名簿（奈良県）

年齢はH29.4.1現在

番号	学校名	氏名	概要	年齢	性別
7	五條市立北宇智小学校	かがい 香井 浄宏	<p>生徒指導の三機能とPDCAサイクルの活用 ～自尊感情の向上について</p> <p>本教諭は、研究主任、生活部長として、学校運営にも協力し学校を支えている。本教諭が提唱したOKAGE(おかげ)プロジェクトは、「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」という生徒指導の三機能を実践し、具現化するもので、自主学習と奉仕作業を柱としている。</p> <p>朝のあいさつ運動から始まり、毎朝、玄関の清掃も併せて行っている。担任以外の教職員もその取組を続ける子どもたちを褒め、激励し全校に知らせることによって、6年生の児童は他学年の良い手本と認められるようになった。このことが、彼らの自尊感情を醸成し、活動を継続させる原動力となっている。</p> <p>子どもに寄り添い、継続して取り組む地道な実践が、結局は一番早く学校を元気にする近道であることがよく分かる事例であり、また学習意欲の向上という課題を解決していくという視点からも参考になる事例である。</p>	36	男
8	奈良県立吉野高等学校	ひさき 久見 宗資	<p>地域と協働を通じて、生徒のコミュニケーション能力向上を目指す教育実践について</p> <p>平成26年4月に学校の農業クラブ活動の一環として、地域の魅力を伝えるため「よしの調査隊」を生徒2名と合計3名でスタートし、2年目にはその活動内容が認められ、県学校農業クラブ連盟大会で最優秀賞を受賞した。</p> <p>また、学校・吉野町・製菓組合の三者による産官学協働「文様割箸」プロジェクトに発展し、その製品が平成27年度グッドデザイン賞を受賞するに至った。さらに、内閣府が実施した「まち・ひと・しごと創生あなたのまちの地方創生動画」にも応募し、現在3本の動画が公開されている。これまでの活動が認められ吉野町公認の活動となり、吉野町の広報活動の任命を受けることとなった。その結果、町役場は勿論、商工会議所や観光協会など様々な団体とのつながりが生まれた。地域に深い理解と愛着をもった生徒が、その学びを自らの進路実現にも生かし、魅力ある活動が、校内でさらに広がりを見せ、新たな地域との協働が生まれようとしている。</p>	41	男
9	奈良女子大学附属小学校	かわた 河田 慎太郎	<p>自律的学習の実践とその普及啓発</p> <p>子どもが自律的に学ぶ「奈良の学習法」の実践に取り組み、特に算数教育の研究を深めている。</p> <p>具体的には、日々の授業づくりや算数教材などの研究を通して、子どもが主体的・対話的で深い学びを展開できるように実践を重ねている。奈良女子大学附属小学校において年間二回行う公開研究会での公開学習・研究協議会・分科会による研究成果の公開や、発刊している機関紙「学習研究」での実践報告や考察の執筆などからも、実践的な算数教育について高い評価を受けている。</p> <p>また、地域の研修会や他校の校内研究会に講師として参加し、子どもを主体的・自律的に学習させるための支援やその方法について、講演や指導助言を行うなど他校への貢献度も高い。</p>	41	男
10	奈良大学附属高等学校	わたなべ 渡邊 ユカリ	<p>学級経営、教科指導において指導的役割を果たし、ミドルリーダーとして他の教職員の模範となっている。</p> <p>温和で明るい人柄、建学の精神を体し、ミドルリーダーとして学校運営において自らの役割を自覚した身の処し方ができ、組織の一員として与えられた職務を責任をもって遂行している。心身ともに健康、バランス感覚にも富み、他の教職員と連携協力しながら学校改善と校運の隆盛に向け取り組んでいる。</p> <p>16年間、ホームルーム担任として学校の教育目標の実現や生徒の実態をふまえた学級運営に尽力するとともに、国語科の教科主任として8年間、生徒の実態を見すえて指導方法や教材を工夫し、学習への興味関心を高めただけでなく、自ら学ぶ姿勢を堅持しつつ、後輩教員への指導助言も怠ることはなかった。</p> <p>平成25年度からは特進コースのコース長として学校運営に参画し、担任とのコミュニケーションを図りながら職務を全うしている。とりわけ、特進コースで実施している2年次の語学研修旅行においては事前指導はもちろんのこと現地(オーストラリア・キャンベラ)でのホームステイや姉妹校との交流、大使館や教育行政機関への表敬訪問等の連絡調整にあたるなど、毎年、その成功のために献身的に努力し、今年度は姉妹校との留学制度の構築に取り組んでいる。</p>	45	女

平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰教職員組織名簿（奈良県）

番号	チーム名	概要
1	奈良県立奈良朱雀高等学校 きかい けんきゅうぶ 機械研究部 こもんだん 顧問団	<p>部活動を通じて、生徒に世界大会に参加できる高い技術と自己有用感を身に付けさせ、その活動により地域連合と学校全体の活性化に寄与した。</p>